

# 婦人会報

令和六年  
立教187年 **10**月 2024年



天理教婦人会旭日支部

通巻544号



天理教婦人会

旭日支部第九十回総会

日時 令和六年十二月一日(日) 午前十時

場所 旭日大教会

次第 ておどりまなび

式典

昼食

バザー

# 諭達の中のお言葉を説明しよう

～お言葉の意味を知ってる?～ vol.9



## にをいがけ

「にをいがけ」とは、お道の匂いをかけることで、親神様のご守護のありがたさを人に伝え、お道を信仰する喜びを聞いて頂くことです。しかし、お話をするという形に限定されるものではなく、自らの心に親神様の思召、教祖のひながたを求め、日々それぞれの立場で、信仰に貫かれた実直な生き方をしていくことが大きな「にをいがけ」となります。そして、一人でも多くの人に、一日でも早く親神様の思召を知ってもらい、ご守護のありがたさを味わって頂くために、こちらは精一杯語りかけていくことが大切です。

## おさづけ

病む人に取り次いで身上の回復のご守護を願うものです。おさづけの理は、病気や怪我で悩み苦しんでいる人をたすける手だてとして、ご存命の教祖から頂戴するものです。九度の別席順序を運んで心を入れ替え、たすけ一条を誓って願い出るところに、おさづけの理をお授け下さいます。

定命を二十五歳縮めて、お姿をかくされてまで世界たすけをお急き込み下された教祖の、子供かわいいういっばいの親心が込められています。

おさづけの理を戴いたようぼくが、真実の心を込めてこの理を取り次げば、親神様のお働きを頂いて、どんな痛みも苦しきも、取り除いて頂く事ができるのです。

参考文献：天理教HP、天理教婦人会HP、「教えをもとに」天理教婦人会

◎次回は諭達6ページ目のお言葉について紹介させていただきます。

# おさづけの取り次ぎ方



## おさづけの取り次ぎの心得

おさづけを取り次ぐということは、ご存命の教祖の手足となって、何よりも尊い人だすけのご用を勤めさせていただくことです。その自覚をもって、それにふさわしい態度でのぞむことが肝心です。

したがって、服装一つにも気を配り、正装でなくても、必ず清潔なものを身につけるようにしてください。服装を整える間がない急な場合には、まず服装の見苦しい点を親神様にお詫び申し上げて、お取り次ぎしてください。また上座から取り次ぐようにしてください。

## おさづけの取り次ぎ方

まず、教えを伝え親神様の日々のご守護についてお話をし、共に心定めをさせていただきます。取り次がせて頂く相手を優しくいたわりながら、また、どうでもたすかしてもらいたいという真実の心でお話させていただきます。

①相手の上座に座り、最初に柏手（かしわで）を二つ打つ

②相手の住所・氏名・年齢・病状のこと、お願いの筋を申し上げる。

お願いは期限を仕切る。（最長で3日）真実を込めておさづけを取り次ぐ。

③「あしきはらひたすけたまへ天理王命」と三度唱えながらお手を振る。

④「なむたすけたまへ天理王命」と三度唱えながら、その都度患う箇所を上から下へ撫でてさする。

③、④を三回繰り返す。

⑤おさづけのお取り次ぎのお礼を親神様に申し上げ、柏手を二つ打って終わる

※取り次ぐ場所が二カ所以上の際は一カ所ずつ取り次ぎます。なお、取り次ぐ場所を 変える際、中間では柏手を打たずに黙礼して次の箇所に取り次ぎます。取り次ぐ順番は、上から下、前から後ろという順序で取り次ぎます。なお、目と耳は左右同時に取り次ぎますが、両手、両足の場合は左右別々に取り次ぎます。

※一人の方が、おさづけを受ける回数は、一日六回までです。

（朝・昼・夕・宵・真夜中・夜明け）

参考文献：「仮席の栞」天理教教会本部、「おさづけの理」天理教道友社  
「さあおさづけ」天理教布教部



# 教えて! 大祭の意義



## 「立教の元一日とは？」

天理教の歴史における、立教を記念する重要な日のことです。

天保9年（1838年）10月24日、教祖（おやさま）の口を通して啓示された「我は元の神・実の神である。この屋敷にいんねんあり。このたび、世界一れつをたすけるために天降った。みきを神のやしろに貰い受けたい。」（「天理教教典」3頁）との親神様の要請に対し、夫善兵衛様が仰せのままにしたがう旨を応えました。それが、10月26日、朝五ツ刻（午前8時）のことでした。

天理教では、この天保9年10月26日を「立教の元一日」としています。

## 「秋季大祭とは？」

10月26日 午前8時から勤められます。

立教の元一日を祈念して、天理教教会本部にて秋季大祭が勤められています。祭典の執行時間は午前8時。教祖が月日のやしろに定まられ親神様の心が入り込んで、その思召を宣べ、世界たすけののための教えを創められたその時を基準にしています。

## 「春季大祭とは？」

1月26日 午前11時30分から勤められます。

教祖がお姿をかくされた明治20年（1887年）陰暦1月26日にちなんで勤められます。

教祖は午後2時頃つとめの了ると共に、眠るが如く現身（うつしみ）をおかしくになりました。時に、御年90歳。

子供である人間の成人をうながされて、すなわち、人間救済を急がれて、現身（うつしみ）をかくされた「親心」に応える成人への歩みを祈念するものです。

参考文献：「天理教辞典」天理大学附属おやさと研究所編、天理教HP、HappistHP

教祖140年祭

# ようぼく 一斉活動日

ともに歩もう ひながたを胸に

ようぼく一斉活動日は、  
同じ地域に住むようぼくが集い、  
思召に心を揃え、互いに勇ませ合っ  
てともに年祭活動の歩みを進める日です。  
ようぼくは、毎回参加しましょう。

立教187年11月3日(日)4日(祝・月)

参加御供:300円(子連れの場合、中学  
生以下は不要です)

### プログラム

- 開会挨拶
- おつとめ
- 諭達拝読 ※諭達をご持参ください
- 教会本部からのビデオメッセージ
- 会場ごとのプログラム
- 閉会挨拶
- 会場一覧

会場毎に開催日・開催時  
刻が異なりますので「教  
区・支部情報ねっと」か  
ら該当支部の情報をご確  
認の上ご参加下さい。



## 旭翠会 観月演奏会

去る9月28日(土)、旭日大教会神殿前にて、旭翠会  
による観月演奏会が開演されました。雅楽の調べに童舞、  
舞楽、ヴァイオリンの四重奏、青年会による管弦演奏、  
そして模擬店での心のこもったおもてなしに大勢の方が  
楽しい夕べを過ごされました。



# 十一月例会案内

日時 十一月五日（火）午前九時  
 場所 旭日大教会  
 内容 教祖祭  
 よろづよ八首  
 （御本部へ移動）  
 本部西礼拝場にてお願いづとめ  
 本部ひのきしん（西境内地清掃）  
 お弁当配布  
 昼食



## 女子青年例会案内

日時 10月27日（日）10時から  
 場所 旭日大教会 神殿集合  
 内容 青年会総会食ひのきしん  
 まなびの時間・エクスサイズ  
 ※ エプロン・三角巾をご持参下さい。



## 十一月例会役割

扈者	吉田 せつ	藤井 綾子
賛者	岩崎 千鶴	松田よし子
指図方	庄司 典子	
地方	よろづよ八首	
笛		
ちゃんぽん		
拍子木		
太鼓		
すり鉦		
小鼓		
琴		
三味線		
胡弓		



## 十月月次祭炊事当番

教会	高天	鷲尾
係員	西岡美千代	杉本かおり
		田中 盛子

◇午前九時までにエプロン三角巾を持参の上お越し下さい。

## 十月月次祭託児ひのきしん当番

教会		
係員	美田 輝代	田中もとこ

◇午前九時十五分より祭典終了までです。

# 勇んで掛かれ

さあ／＼皆勇んで掛かれ。  
勇む事に悪い事は無いで。

(おさしづ 明治33年10月31日)



発行日 令和六年十月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八  
天理教婦人会旭日支部